

査提要に基き調査上に關する指示注意があつた。

道府縣統計課長會議 道府縣統計協會長會議

大月課長等出席

去る四月七日より九日迄三重縣宇治山田市に於ける全國道府縣統計課長全國道府縣統計協會長會議に本縣より大月統計課長及び塚本屬が出席した、議題次の如し。

- 一、皇紀二千六百年記念事業に關する件
 - 一、全國統計記念日に關する件
 - 一、統計關係者に依る愛國機敵納に關する件
 - 一、統計調査機構の改革に關する件
 - 一、農業勞力調査施行方各省局へ要望の件
 - 一、昭和十四年臨時國勢調査施行に際し趣旨普及方に付要望の件
- 尙三重縣統計展覽會に本縣より參考品として久慈郡賀美村より調査から報告

までと題し調査方法を圖解を以て説明し調査資料を一區分取纏め提出した。

國勢調査關東アロツク 會議並第三回一府八縣 統計事務協議會

内閣統計局主催に依る關東府縣の縣

市を單位とする昭和十四年臨時國勢調査の細目に亘る打合會及び第三回關東區一府八縣統計事務協議會は四月十七十八の兩日山梨縣會議事堂に開催せられ、統計局より友安統計官が臨席して詳細なる説明があつた、本縣からは大月統計課長並に郡司屬及び水戸市より加倉井書記が出席した。

寄贈圖書

- | | |
|-------------|-----------|
| 調査月報 第十卷第一號 | 朝鮮總督府 |
| いしすゑ 二月號 | 福岡縣統計協會 |
| 統計時報 第八十八號 | 内閣統計局 |
| 統計 三月號 | 千葉縣統計協會 |
| 統計時報 第三號 | 秋田縣統計協會 |
| 統計時報 第八十九號 | 内閣統計局 |
| 會社統計表 | 商工大臣官房統計課 |
| 浪華の鏡 四月號 | 大阪府統計協會 |
| 兵庫縣統計書 | 兵庫縣 |
| 山口縣統計書 | 山口縣 |
| 家計の概要 | 内閣統計局 |
| 家計調査報告 | 同 |
| 德島縣統計書 | 德島縣 |
| 朝鮮總督府施政年報 | 朝鮮總督府 |

（最）（近）（の）（統）（計）

昨年の水産總額は 九百四十五萬餘圓

前年に比し二百萬餘圓を減じたが

遠洋漁業は増加を示す

縣統計課が調査集計し發表したところによると昭和十三年に於ける水産物總價額は九百四十五萬三千六百十二圓で、之を種類別に觀れば沿岸漁獲物に於て四百十四萬五千八百七十七圓、遠洋漁業に於て二百二十九萬六千二百六十三圓、水産養殖に於て四萬五千八百五十圓、水産製造物に於て三百九十六萬六千三百十二圓である。尙之を前年と對比すれば總價額に於て二百萬六千七百三十六圓、沿岸漁獲物に於て五十五萬一千七百八十八圓（一割一分七厘）水産養殖に於て十八萬七千七百四十圓（八割四分四厘）水産製造物に於て百四十三萬二千九百四十四圓（二割六分五厘）を執れも減少し、遠洋漁業に於ては十六

萬三千八百十六圓（一割四分四厘）を増加した。而して總價額を郡市別に觀るときは多賀郡の二百九十八萬三千九百三十六圓が第一位を占め、之に次ぐものは那珂郡の二百一十一萬三千九百四十四圓、鹿島郡の百七十二萬四千五百二十五圓、久慈郡の九十四萬三千二百六十圓、新治郡の五十八萬一千四百九十九圓、東茨城郡の五十七萬五千二百八十八圓、行方郡の三十三萬八千五百五十四圓、稻敷郡の十萬二千七百三十四圓で、其の他十萬圓に満たないものは猿島郡、北相馬郡、眞壁郡、結城郡、筑波郡、水戸市、西茨城郡の順位で、更に之を種類別郡市別に示せば次表の通りである。

郡市別	總價額	順位	沿岸漁獲物	順位	遠洋漁業	順位	水産養殖	順位	水産製造物	順位
水戸市	七〇、七〇〇	一四	七四	一四	一	一	六、九五	三	一	一

郡市別	東茨城郡	西茨城郡	那珂郡	久慈郡	多賀郡	鹿島郡	行方郡	稲敷郡	新治郡	筑波郡	眞壁郡	結城郡	猿島郡	北相馬郡	計
漁業者	55,266	6,060	22,294	9,236	29,633	17,455	38,556	10,734	56,492	10,434	11,270	10,731	3,100	17,331	945,622
本業副業別	300,633	3,050	62,552	47,644	1,340,092	86,681	19,482	9,730	18,932	8,932	2,321	10,052	35,700	17,033	4,451,677
業主被用者別	26,500	1	9,484	3	3,866	2	6	8	7	8	2	3	9	0	1,296,332
従業者	2,233	600	72	1,246	300	20	32	4	5	4	3	7	6,400	4,800	45,686
漁業	19,323	1	55,750	44,336	1,300,621	86,680	19,480	9,729	18,931	8,931	2,320	10,051	35,699	17,032	4,451,676
製養漁	1,815	1	1,815	1	1,815	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1,815
製造	1,815	1	1,815	1	1,815	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1,815
養漁	1,815	1	1,815	1	1,815	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1,815
製造	1,815	1	1,815	1	1,815	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1,815

水産業者

昭和十三年に於て漁撈養殖製造に従事した水産業者は二萬七千九百四十五人で、之を前年に比すれば一千六百五人の増加を示した。之が内容を示せば次の如くである。

男女別
男 二一,八二五
女 六,一二〇

漁船

昭和十三年に於ける漁船数は

年	総数	動力ヲ有セザル漁船	動力ヲ有スル漁船
年末現在船数	六,〇八一	五,五三二	五四九
年内新造船数	一九九	一三七	六二
年内廢用船数	五〇八	三六七	一四一

で前年に比すれば年末現在船數に於て二百六十九隻、年内新造船數に於て百七隻を減少し、年内廢用船數に於ては八十八隻を増加した、更に漁船數の郡市別を示せば次表の如くである。

郡市別	水戸	東茨城	西茨城	那珂	久慈	多賀	鹿島	行方	稲敷	新治
船數	一七七	七七七	六三六	二五五	七八〇	一,〇〇五	八四一	七八八	五八〇	一七

縣下十三年の

織物生産額

二割七分餘の増加率

昭和十三年に於ける本縣織物總生産價額は三百十萬八千十一圓で、之を前年總生産額に比すれば八十四萬四千二百八十八圓乃ち二割七分二厘の増加を示した。種類別に内譯すれば左の通りである。

種別	昭和十二年	昭和十三年	増
綿織物	一,三七,七五	一,四五,三三	一七,五八
絹織物	七,八,八三	一,〇,〇五	二,一六
絹織交織物	三,七,九四	六,六,〇七	二,八,一三
計	二,二,三,七三	三,〇,八,〇二	八,五,四九

石材土石も増加

廿六萬餘圓に達す

昭和十三年に於ける本縣石材土石總產出價額は百五十三萬二千九百三十圓で、之を前年總產出價格に比すれば二十六萬四千三百八十一圓乃ち一割七分二厘の増加を示した。種類別產出額並に前年との對比は左の通りである。

種類	昭和十二年	昭和十三年	増減(△印ハ減)
花崗岩	六三、三三六	九一、三四五	二八、〇〇九
砂	一、三三三	一、三三三	〇
大理	一、三三三	一、三三三	〇
砂	一、三三三	一、三三三	〇
粘灰岩及灰岩	一、三三三	一、三三三	〇
砂	一、三三三	一、三三三	〇
大	一、三三三	一、三三三	〇
砂	一、三三三	一、三三三	〇
陶石及陶土	一、三三三	一、三三三	〇
粘灰	一、三三三	一、三三三	〇
石	一、三三三	一、三三三	〇
灰	一、三三三	一、三三三	〇
岩	一、三三三	一、三三三	〇
計	一、三三三	一、三三三	〇

安山岩	五〇〇	四〇〇	△	一〇〇
凝灰岩及灰岩	八七〇	八七〇	〇	〇
砂	八〇〇	八〇〇	〇	〇
大理	一八三、〇〇〇	一八三、〇〇〇	〇	〇
砂	三、四一〇	三、四一〇	〇	〇
陶石及陶土	四、一〇〇	四、一〇〇	〇	〇
粘灰	三、七九〇	三、七九〇	〇	〇
石	七、八三〇	七、八三〇	〇	〇
灰	一、三三三	一、三三三	〇	〇
岩	一、三三三	一、三三三	〇	〇
計	一、三三三	一、三三三	〇	〇



牛乳や肉類の需要は著しく増加を示す

搾乳屠殺の統計が物語る

縣統計課の調査したところによれば昭和十三年に於ける縣下の搾乳場は百三十四ヶ所で乳牛頭数は九百七十九頭であり搾乳量は一萬一千五百九十五石に上り金額にして五十九萬二

千四百十五圓である。之を前年の搾乳高に比較すると一千二百五十六石即ち一割二分一厘を増加した譯であるが、更に屠殺の肉量を見れば七十四萬二千七百三十六貫、價額二百十一

萬七千八百六十六圓で、前年に比すれば數量に於て三萬七千六百五十四貫(五分三厘)、價額は四十萬二千五百五十三圓(二割三分五厘)の増加を示した。之は取もなほさず縣下の牛乳

や肉類の需要が著しく増して行く傾向を物語るものであるが屠殺したものゝ種類別を見れば左の通りである。(單位は頭貫、圓)

種別	頭數		肉量		價額計
	牝	計	數量	價額	
成牛	六〇	一、四九五	三、六八	三〇、三五五	二〇、二七五
犏	三	一八	一	四一	七五
馬	三〇	四六	一〇、三三	二〇、四三	三、五三六
豚	六、三九	七、〇七	三、五五	一〇、〇三三	八〇、四六五
細羊	一	二	一	一	一、六〇七
山羊	五	二	三	三	三
計	一〇、四四	一六、四七	四〇、三三	一、二五、六六	四八〇

増産を示した

園藝農産物

作付反別も増す

縣下の昭和十三年に於ける園藝農産物蔬菜及花卉の三(生大根、切干大根、カブラ、ニンジン、ゴボウ、サトイモ、レ

種類	作付反別	收穫高	價額
ンコン、ネギ、タマネギ、キャベジ、ツケナ、ラツカセイ	二千三百五十五圓である。之を種類別に見れば		
生大根	二、四〇〇	二、七九三	一、〇八〇、〇〇〇
切干大根	一	一、五〇	八六一
カブラ	七、五	一〇〇、四三	三、四〇〇
ニンジン	四六、八	一、三〇四、八七	二九、〇九
ゴボウ	八六、五	二、七六、三四	六三、七三